

職員による自己評価

A環境面

- ・スタッフの配置数、バリアフリー化の配慮は要改善。
- ・スペースや研修の機会は十分。

B児童への支援内容

- ・平日と休日での課題について、打合せ内容のきめ細やかさは要改善。
- ・振り返り、情報共有、日々の記録は行えている。
- ・活動が固定化しないよう計画しているが、チームでの連携がもっとあると良い。

C関係機関との連携

- ・サービス担当者会議には参加できている。
- ・通院している児童の主治医との連絡体制は取れていない。
- ・協議会への参加、卒業後の進路先への情報共有の場は増えてきている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・保護者との情報共有は個人情報、伝え方に配慮してできている。
- ・保護者からの悩みに対する助言やペアレントトレーニングへの知識を高めていきたい。

E非常対応

- ・避難訓練、虐待研修の機会は十分。
- ・緊急時に関して、保護者との情報共有ができていない。

保護者による評価

A環境面

- ・スタッフの配置数、スペースには良い評価をいただいている。
- ・バリアフリー化に関してはできているか、いないか、わからない。

B児童への支援内容

- ・計画や活動についても満足していただいている。
- ・地域での活動にも良い評価をいただいているが「障がいのない子どもとの交流にこだわらなくても良い」という意見もあった。

C事業所からの情報発信

- ・連絡や面談の場は十分に取れている。
- ・コロナ禍のため今年度も保護者会が無かった。
- ・苦情への対応は改善が必要。

D非常時対応

- ・訓練の機会は十分だが、保護者への緊急時対応や感染対策のマニュアルを伝えられていない。

E満足度

- ・概ね満足していただいている。

事業所内での分析

【共通点】

- ・活動スペース、避難訓練の機会は十分。
- ・保護者同士が交流する機会がない（コロナ禍なので）
- ・放課後等デイサービス計画はできている。
- ・障がいのない子どもたちとの交流がない。
- ・日頃の保護者との連絡、共通理解はできている。
- ・緊急時対応のマニュアルの周知ができていない。

【相違点】

- ・職員の配置数に対する認識。
- ・子育て支援やペアレントトレーニングについて、保護者からは適切と評価をしてもらえているが、スタッフ側は「まだ、知識が足りない」という意見もあった。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- 活動スペース、避難訓練の機会の確保。
- 日々の保護者との連絡、共通理解への取り組みができており、信頼関係も築けている。
- 試行錯誤しながらも、子どもたちの将来のことを考えて活動の計画・運営ができています。
- 支援や虐待など研修への参加も増えている。
- 外作業を通しての地域の方々との関わりを積極的に行っている。

事業所の改善点

- 設備のバリアフリー化
- ガイドラインや子育ての知識を高める。
- 緊急時や感染対策などのマニュアルに関する保護者への情報共有。
- 活動プログラムの立案、振り返りでチームでの連携強化。
- 保護者同士の交流の場を作る。
- 他のデイサービスや関係機関との関わり。

事業所の改善への取り組み

- 子どもたちが活動に取り組みやすいよう、必要な物の整理や「見てわかる」よう準備する。
- 感染対策を行って、少人数ずつでの保護者会の実施。また、普段の様子も気軽に見に来てもらえよう発信していく。
- スタッフ一人一人が子どもたちの特性やガイドラインや子育てについて学び、得た情報をチームで共有し、日々の支援や活動のプログラム作成に反映していく。
- 緊急時のマニュアルをまずスタッフ間でしっかりと把握し、保護者に情報を伝える。
- 今まで以上に研修や関係機関との交流の場への参加。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

日頃の支援にご理解、ご協力誠にありがとうございます。また、スタッフへの温かいお言葉もとても励みになりました。

今後は子どもたちのために様々な視点や視野を広く持ち「今を大事にしながら、明るい未来に向けて」支援を行っていきます。そのためには少しずつでも相違点や改善点が減っていけるよう「子どもたちへの熱い気持ち」を持った素晴らしいスタッフのみんなと今まで以上に協力していきます。

事業所名 放課後等デイサービスクリームソーダ単位2（中高部）

担当者 山本 洋平